



あさひ

2月号

令和5年1月31日
横浜市立旭小学校

「思いをもつ力」 「やり抜く力」 「関わる力」

【WEB】 <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/asahi/>

【Instagram】 [asahi_e.s._yokohama](https://www.instagram.com/asahi_e.s._yokohama)

RESTART

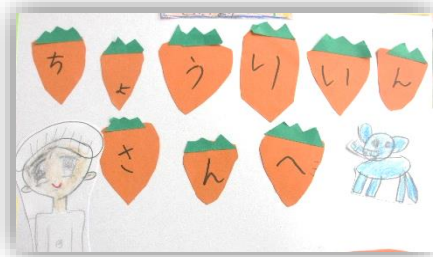
“121st SCHOOL YEAR”



食べることは、生きること

副校長 岩元カオリ

明日から2月、一年中で一番寒い時期となりました。温かいシチューや豚汁が給食に登場すると、子どもたちの顔もほっとおだやかになるようです。1月は健康週間に続き、23日から給食週間が始まり、給食委員会の児童を中心に「給食の誕生」の紙芝居を上演したり、調理員さんへのインタビューを紹介したりしたほか、各クラスで給食に関わる目標を立て、調理員さんへの感謝の寄せ書きを作ってプレゼントするなど、様々な取組が行われました。



普段なかなか見られない調理場の様子を目にすると、長く学校に勤めている自分にとっても改めて大変な労力を要する仕事だと感じられます。安全でおいしい給食を提供すること、言葉でいうのは簡単ですが、朝早くから材料を丁寧に検品し、温かいものは温かく冷たいものは冷たく、食べるそのときおいしく味わえるように調理に携わる皆さんが一丸となって努力している様子がよく分かりました。

学級担任をしていたときは、毎日順にグループを回り、子どもたちの話を聞きながら給食を食べたものです。「あのね、昨日ね…」と話してくれる中に子どもたちの素の顔が見え、子どもへの理解も深まったように感じていました。子どもにとって楽しみであったり、時に気の重いものであったりもするのが給食です。学校で友達と一緒に同じものを食べることで、初めて目にするものに挑戦したり、家庭とは違う味付け・盛り付けに感動したりして、多くのことを共有する時間なのでしょう。給食前おとなしかった子どもたちが、給食後がぜん元気になる、いきいきと遊びに活動に飛び出していく姿は今も変わりません。そして1月末、給食週間のころになると、入学・進級したての頃に比べ、食べられる量や種類がぐんと増えていて、子どもたちの成長を実感するのです。

もう少しすると子どもたちが顔を合わせ「おいしいね。」とほほえみながら給食が食べられるようになるかもしれません。家庭での食事とともに生きるためのエネルギーで体も心も満タンにする給食、今日もおいしく「いただきます！」

学校と家庭の情報共有・連絡ツール「COCOO（ココー）」の試験導入について

これまで学校と家庭の連絡手段として電話やメールを活用してきましたが、この3年間休校等もあり、連絡の重要性が高まったため、よりよい連絡手段の導入について検討してきました。そこで旭小学校では現在寺尾中学校でも採用されている「COCOO（ココー）」を2月半ばから試験導入し、検証していくことにしました。「COCOO（ココー）」では

- 欠席連絡が24時間・自動受付可能です。
- 学校からのおたより（配付物）が保護者様のスマートフォンやPCに届きます。
- 学校の行事予定をカレンダーで確認できます。

詳しくは別途おたよりでお知らせいたします。保護者の皆様には登録等の作業でお手数をおかけしますが、どうぞご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。